

# メダカのたん生

## ～たまごが大きくなるまで～

玉名市立大野小学校 2年 はまさき えい太

### 1 研究の目的

ぼくはメダカを飼っています。メダカが大好きで本もたくさん読みました。それを実際に自分の目で観察してみたくて去年から観察日記をつけ始めました。今年はずっとくわしく調べたいと思い、たまごが大きくなるまでの観察を始めました。

### 2 研究の方法

- (1) 成長観察…夏休みのはじめにたまごをとり、成長を観察する。毎日きまった時間に水温もチェックする。
- (2) たまごのふ化実験…置き場を4か所にわけ、水温・成長のちがい・ふ化までの日数を調べる。

### 3 研究の結果

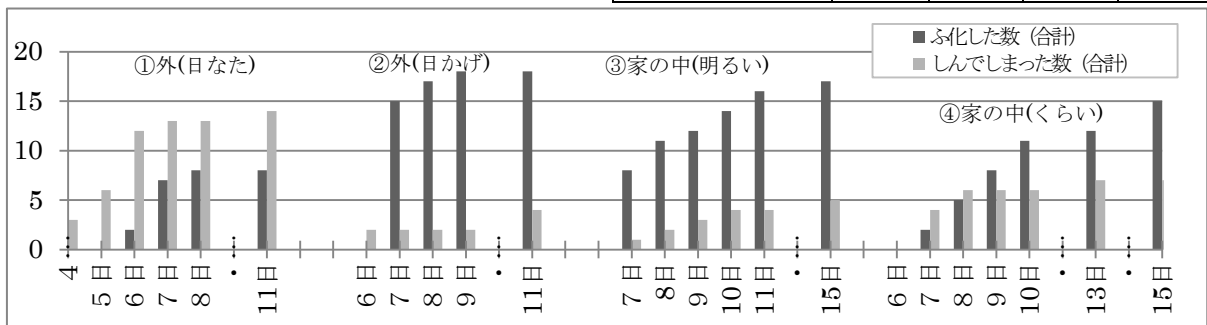
(2) たまごのふ化実験

↓ 目ができた数 (累計)

ふ化する早さの予想

- 1位：①外(日なた)      2位：②外(日かげ)  
3位：③家の中(明るい)      4位：④家の中(暗い)

	2日目	3日目	4日目	5日目
①外(日なた)	6	13	22	
②外(日かげ)	5	16	18	22
③家の中(明るい)	3	13	19	21/22
④家の中(くらしい)	0	4	15	17/22



### 4 研究で分かったこと

- (1) たまごは生まれて約1週間でふ化する事が分かった。その体長は約4mmだった。毎日ほんの少しずつ成長していき、約1か月で若魚になるなんてメダカはすごい!と思った。
- (2) 目ができるまでは、4日目で①が22個全部が一番早かった。5日目で②が22個、③が21個、④が17個だったが、③④とも成長が止まり、しんだたまご以外はすべて目ができていた。このことから5日目までに目ができる事が分かった。ふ化するまでの早さは、1位：①、2位：②、3位：③、4位：④で予想した通りだった。①外(日なた)は水温が上がりすぎる時も多く、目ができたのに成長が止まってしまうものが多かった。「たまごがふ化する早さは水温で変わり、明るさは関係ない」と聞いたことがあったが、今回の実験で、水温と明るさ、両方が関係あるのかも?と感じた。たまごの飼育には、水温30℃をこえない室外か、明るい室内がいいと思った。

### 5 研究のまとめ・感想

水温を毎日4回以上測って高くなりすぎないようにするのが大変だった。去年のメダカはたまごを毎日うんでいただけ今年途中からうまなくなって、なぜ?と思った。また、(1)のたまごは(2)の③中(明るい)と同じように飼育していたのに、ふ化の割合や日数が違ったのはどうしてだったのだろうか?と思った。今回学んだことを生かして研究を続け、今度は産卵の瞬間を見たい。